

NO. 638
発行
2008・7月10日
国鉄労働組合
新潟地方本部
発行責任者
守橋久仁雄
編集責任者
教宣部

公務災害認定



県職労本庁支部では、大橋さん（県教育庁財務課）の『公務災害認定』を勝ち取るために全力を上げています。

大橋和彦さん（当時三十四歳）が厚生労働省の『過労死防止基準』、『地公災過労自殺認定基準』を超える超勤をさせられ『うつ病』を発症し二〇〇二年六月に自殺しました。遺族は二〇〇四年六月に公務災害認定の申請を行いました。

公務外とされる

これに対して、新潟県基金支部は『公務災害である』として基金本部

勝ち取ろう

に協議文書をあげましたが、基金本部の指導により結論がひっくり返され二〇〇六年十一月に『公務外』とされました。

口頭陳述 八月十九日

遺族は、ただちに基金支部審査会に審査請求を行いました。審査会がなかなか開催されませんでした。基金支部及び同審査会への計十五万筆に及ぶ『早期認定を求め署名』と『申し入れ』の結果、ようやく審査会が動き出し、八月十九日に口頭陳述が行われることとなりました。



全国大会



★とき

7月30日10時開会
31日15時閉会

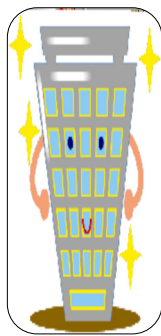
★ところ

伊東温泉『じゅらく』
伊東市岡286
Tel 0557-37-3161



（★記事の内容については、本庁支部機関紙六月号の内容をまとめて記載させていただきます）

県職労本部・本庁支部は過労死再発防止のために、大橋さんの『公務災害認定』を勝ち取るため全力をあげています。多くの方々からのご協力をよろしくお願いします。



母親の訴え

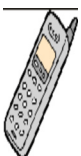
突然、息子が亡くなり、私の頭の中は一瞬にして真っ白になりました。もう生きてゆけないと思いました。でも、どうして息子が死ななければならなかったの・・・それが判らなければ、死ぬにも死に切れません。遺書も何もない、ただ、息子が仕事で悩んでいたことは事実なのです。私は情報公開請求で大きなダンボール19箱もの資料を手に入れました。その中には黒塗りだらけで何もわからない文書もありましたが、見えてきたことがありました。

『息子は過重労働にさらされていた！』
認められるまで闘います！

どうかご支援よろしく申し上げます。

編集後記

梅雨入りしてから、なかなか雨が降らないですね。地球温暖化の影響で西日本では、局地的に大雨になっているようです。七月に入りました。今年も、半年が過ぎて、これから闘いも山場に向かいます。今回は、県職労の公務災害の問題と、JRの安全と利便性を求める新潟地区連絡会の『駅調査』についての内容の特集しました。あなたの身近な問題、地域の取り組みなどありましたら地本教宣部へ記事をお寄せください。



駅調査を実施

待合室なし ホームの屋根なし 暖房なし



JRの安全と利便性を求める 新潟地区連絡会



駅数は四十七
有人駅十五
委託駅十六
無人駅十六

駅数は全部で四十七駅。そのうちJR職員が配置されている有人駅は十五、委託による駅は十六、無人駅は十六でした。トイレの設置状況は、改札の外に配置されている駅

『JRの安全と利便性を求める新潟地区連絡会』は、五月十七日と六月二十一日の二日間に信越線・弥彦線白新線・羽越線の駅調査を行いました。

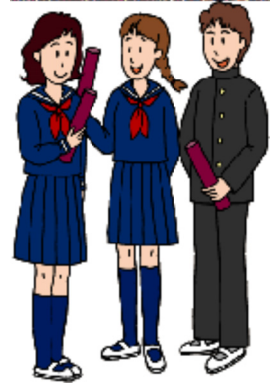
ホームに屋根がない



ホームの屋根は、設置なしが、十三駅もありました。また設置されているのですが、列車一両にも満たない、半両ほど屋根がかかっていたのが、弥彦線の矢作（やはぎ）駅です。

また今回の調査では正確には確認できませんでしたが、待合室があっても、ほとんどの駅では暖房がないと思われました。

寺尾駅と青山駅で寺尾駅にはホームにイスが設置されました。また青山駅には、階段を上がった踊り場にイスが三、四脚置いてありましたが、冬の寒さを避けることはできません。



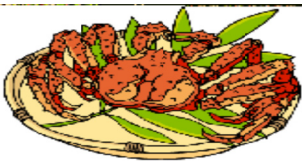
越後赤塚駅と白山駅、月岡駅、京ヶ瀬駅の場合、島型ホームで、改札を出ると橋を渡ってホームに行かなくてはなりません。待合室があっても、ホーム上にはないため、雪の季節は厳しいと思われます。しかもホームに屋根がないところもあります。



寺尾駅にはエレベーターが設置されていますが、それは橋上駅で駅舎とホームを結ぶもので、駅までの階段には設置してありません。トイレもホームの階段の裏にあって、わかりにくい構造になっています。冬の寒さを考えると、不便な駅といわざるを得ません。



函館夏のカタログ物販のご協力をお願いします



参加者の印象に残ったのは、矢作駅は、本当に小さな駅でした。片道十二本運行されていますが、吉田駅発弥彦駅行きの最終が、吉田駅十九時五十九分発で利便性に欠けるといってもよいでしょう。弥彦駅では観光客がいましたが、弥彦駅発吉田駅行きは、十三時二十一分の次は十五時十五分発で、二時間近くもあいています。親子三人の観光客が『一時間半も待たされるのか』とぼやいていました。

矢作駅は 本当に 小さな 駅

(弥彦線)